

CLIPPEDIMAGE= JP358062027A

PAT-NO: JP358062027A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58062027 A

TITLE: METHOD OF MOLDING FOAMED BODY WITH INTEGRAL SKIN

PUBN-DATE: April 13, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MORIYAMA, SADAO

ICHIKAWA, TAKU

TAKEBAYASHI, MASARU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

N/A

IKEDA BUSSAN CO LTD APPL-NO: JP56160891

APPL-DATE: October 12, 1981

INT-CL (IPC): B29D027/04; B32B005/18

US-CL-CURRENT: 264/46.8

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a foamed body with an integral skin whose feeling is

favorable and whose adhesion to the foamed body is good, by flocking a

thermoplastic resin thin layer surface to obtain a flocked skin, introducing

the flocked skin in a mold, injecting a foamable resin raw liquid onto the

undersurface of the skin, and allowing the liquid to foam and the thin layer to $\frac{1}{2}$

fuse.

CONSTITUTION: For example, the surface of the thin layer 12 of a thermoplastic

synthetic resin is flocked with a flock material 13 to obtain the flocked skin

11, and the skin 11 is placed in the bottom force 15 of the mold 14 with the

flock material 13 down, and vacuum is applied by a vacuum pump 17 to suck the

skin 11 to the molding surface of the bottom force 15 to perform the molding.

Then the foamable synthetic resin raw liquid is injected onto the thin layer 12

of the skin 11, a top force 16 is set, and then the resin

liquid is allowed to foam and the thin layer 12 is fused to obtain the intended foamed body having the foamed body 18 and the skin 11 integrally fused to it. This method is suitable to the production of sheets for cars, furniture, etc.

COPYRIGHT: (C) 1983, JPO&Japio

19 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭58-62027

⑤Int. Cl.³
B 29 D 27/04
// B 32 B 5/18

識別記号 102 庁内整理番号 2114-4F 7603-4F **43公開 昭和58年(1983)4月13日**

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

⊗表皮一体発泡体の成形方法

②特

願 昭56-160891

❷出

願 昭56(1981)10月12日

@発 明 者 森山貞雄

横浜市旭区白根町269川島アパ

- h

@発 明 者 市川卓

横浜市保土ケ谷区東川島町1-3

⑩発 明 者 竹林勝

横浜市旭区鶴ケ峰本町1427-1

⑪出 願 人 池田物産株式会社

横浜市保土ケ谷区東川島町1番

地の3

四代 理 人 弁理士 秋山修

明 細 鲁

1.発明の名称

表皮一体発泡体の成形方法

2.特許請求の範囲

(1) 熱可塑性合成樹脂からなる薄層の表面側に植毛材を植毛して表皮を形成し、酸表皮を所定の形状に成形した後、発泡成形型において前配表皮の裏面側に発泡合成樹脂の原液を注入し、酸原液を発泡させて発泡体を発泡成形し、前配発泡成形の際に表皮の薄層を溶剤して前配表皮と発泡体となっ成形方法。

(2)前記表皮の成形が真空成形型により行なわれる事を特徴とする特許請求の範囲第1項記載の表皮一体発泡体の成形方法。

3.発明の詳細な説明

本発明は車両等のシートまたは家具等のシート に用いられる安皮一体発泡体の成形方法に関する。

従来の表皮一体発泡体は第1図に示す如く、布製の表皮1の裏面側に裏打材2を取り付け、この

本発明の目的は、表皮に平級,丸織等の繊維からなる布地を使用することなく、表面感触が布製と同様に優れ、且つ伸縮性が良いので成形性に優れ、また表皮の真空成形に際し、裏打材を用いる必要がなく、表皮の感触風合が優れ、表皮と発泡体との接着性の優れた経済性に富む表皮一体発泡体の成形方法を提供するもので、以下図面を参照

特開昭58~62027(2)

して詳述する所より明らかとなるであろう。

第2図には本発明に係る表皮一体発泡体の成形方法の実施に用いられる表皮 1 1 の一実施例が示されており、この表皮 1 1 はオレフィンシートの如き熱可塑性合成樹脂からなる薄層 1 2 と、この薄層 1 2 の表面側に静電 植毛された植毛材 1 3 とからなり、植毛材 1 3 は表皮 1 1 が平らな状態において植毛されるので、植毛が容易であると共に植毛後にモミ加工や薬液処理等により薄層 1 2 に、強固に植毛させられる。

次に第3図乃至第6図に基づき本発明方法の一 実施例を説明すると、第3図には前記表皮11が 真空成形法により成形されている状態が示されて かり、成形型14の下型15に表皮11の植毛材 13を下方に向けた状態で軟置し、ついで真空ポ ンプ17を作動させて真空引きし、下型15の成 形面に表皮11を吸着させる。

次に、第4図に示す如く、表皮11の薄層12 側に発泡合成樹脂の原液18を注入し、第5図に示す如く上型16をセットし、常法により発泡成

の一実施例の概略であるが、表皮の表面に植毛材が形成され、布製の表皮と同様の感触を得る事が 出来、また植毛材は熱可塑性合成樹脂からえる薄層に植毛されているので成形性に優れ、また裏打 材を使用しなくても真空成形が出来、表皮の厚さ を減少させる事が出来るので表面感触が優れ、表 皮の薄層を低温で溶融させる事により、極めて多 易に通気性を持たせる事が出来る等種々の効果を 有する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の表皮一体発泡体の一例を示す断面図、第2図は本発明に係る表皮一体発泡体の成形方法の実施に用いられる表皮の一例を示す紙略的断面図、第3図乃至第6図は本発明の成形工程の概略を夫々示す断面図、第7図は表皮一体発泡体の拡大断面図である。

図中、11…表皮、12…薄層、13…植毛材、14…成形型、15…下型、16…上型、17… 真空ポンプ、18…発泡体、18…発泡合成樹脂の原液、19…表皮一体発泡体、22…シート。 形し、発泡体18を発泡成形する。この発泡体18の発泡成形の際に発生する発泡熱及びキュア熱により前配表皮11の薄層12が溶融され、薄層12と発泡体18とは溶着状態となり、成形型14の冷却後成形型14より表皮一体発泡体19を取り出し、第6図に示す如く、フレーム21に表皮一体発泡体19を組付ける事によりシート22が形成される。

尚、成形型14の上型16に発泡合成樹脂の原被18'の注入孔が形成されたものを用いれば、上型16をセットした後に該注入孔より発泡合成樹脂の原液18'を注入し、発泡体18を発泡成形すればよい。

尚、更に発泡体18の発泡終了後にキュア炉内を通す事により、或いは適宜の加熱手段により表皮11の薄層12を更に溶融させ、第7図に示す如く、発泡体18表面或いは内部に薄層12の一部を溶け込ませ、表皮11に通気性を持たせるよりにする事も出来る。

以上が本発明に係る表皮一体発泡体の成形方法



